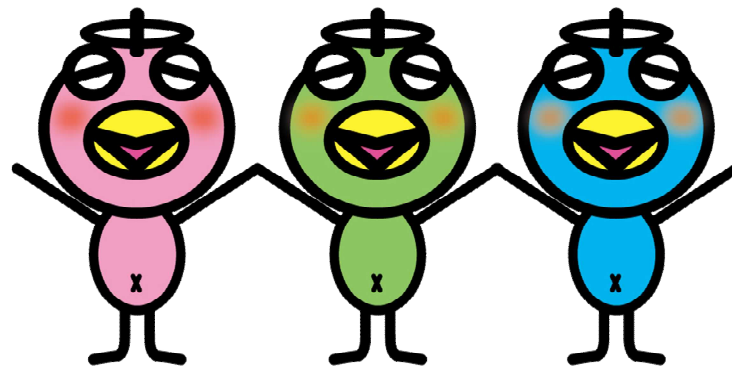


認知症 **なかま**で備え 支え合う  
★ プロジェクト ★

み～んな  
な・が・ま



—福岡県 中間市—



# 福岡県中間市 (昭和33年~)





川西

川東



一級河川 遠賀川



# 川西



# 川東



39,451人



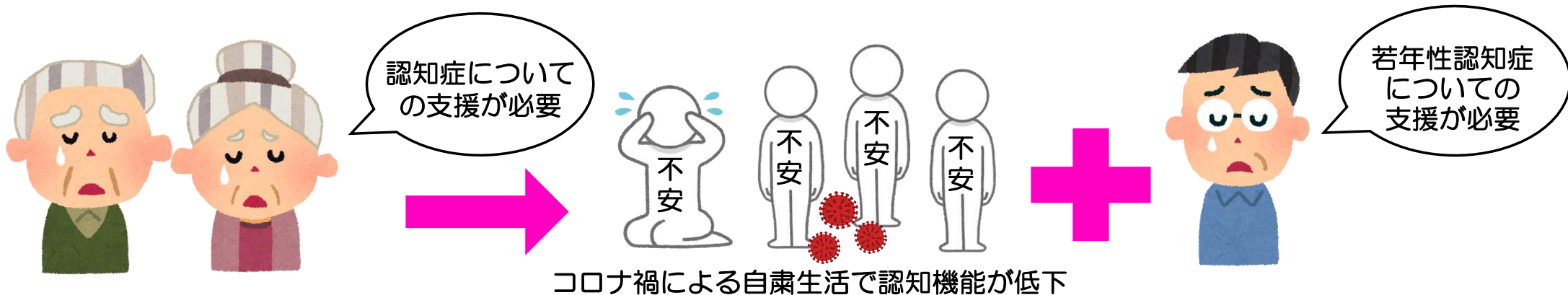
令和5年12月末時点

38.2%  
(15,071人)



世界遺産





認知症に対する偏見をなくして  
 高血圧や糖尿病をカミングアウト  
 するのと同じように認知症である  
 ことを隠さずに言いたい！

**決心**

認知症になって苦手なことが増えて  
 も「助けてほしい。」「協力してほ  
 しい。」って言えるようにしたい。  
 でも、できることは自分でやりたい。

**決心**

支援する方もされる方もない  
**お互い様**のまちづくり



認知症 **なかまで** 備え 支え合う  
 プロジェクト

地域のみなさん、専門職、民間企業、学識者、行政、  
 その他協力してくださる全ての人々が

「**中間市における認知症支援**」に  
 自分の思いを持つこと



# 図書館に認知症コーナー設置

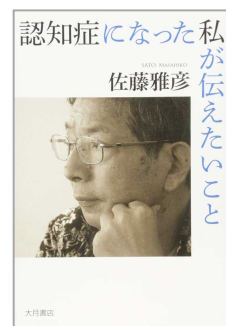


認知症に対する**正しい理解**をしてほしい

中間市民図書館は  
子どもから高齢の方まで  
皆さん利用されて  
います！



認知症コーナーには書籍だけでなく認知症ガイドブックなどの資料も設置しています。この取り組みは、**中間市民図書館の職員さん**、**生涯学習課**との協働で実現しました。



認知症当事者の方が想いを込めた書籍を中心に約40冊の認知症関連本を揃えました。



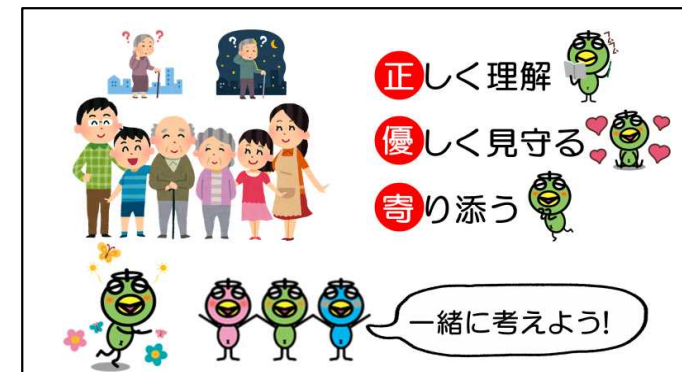
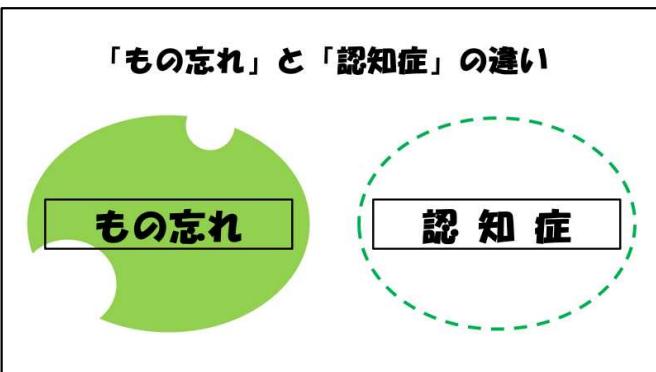


# 動画「認知症でもこわくない！」

もっと認知症のことを知ってほしい・・・

認知症についての理解を深めるために作成した動画「認知症でもこわくない！」を市役所一階のフロアで放映することにしました。この動画は、認知症の種類や症状のことだけでなく、認知症に備えた生活習慣に関する情報も取り入れて作成しています。毎日たくさんの方が来庁する市役所。この動画を観て一人でも多くの市民のみなさんに認知症についての正しい理解を持ってほしいです。

中間市役所1階市民課前で  
動画放映中です！



# 認知症サポーター養成講座

中間市民図書館職員・中間市役所職  
 希望が丘高校1年生・中間高校1年生  
 医療介護従事者・地域のみなさん

今回から講義内容をリニューアルし、若年性認知症や認知症の進行に応じた対応方法についての情報を取りいれました。講義時間が長いため、クイズ「もの忘れ？認知症？どっちでSHOW」やゲーム「なんの曲でショー」で飽きないように工夫しています。今後も、サポーターの人数を増やすことだけを目標とするのではなく、認知症に対する正しい知識を身に付け、支援について自分の思いを持ってもらえるような認知症サポーターを養成していきます！



**高齢者の認知症との違い**

- 発症年齢が若い
- 発症年齢54歳以下!
- 男性に多い
- 高年齢の認知症は女性の方が多い
- 経済的な問題が多い
- 働き盛りで一家の会計を交えている人が多い!
- 家庭内での課題が多い
- 夫健闘、子どもの養育、教育、結婚など
- 時に複数介護となる
- 介護者が高齢の親である
- 若年性認知症やその配偶者の認知症介護負担にさらされる
- 見守りが大切
- できることは自分でしてもらう
- 子どもが若年性認知症に悩んだ場合
- 子どもが若く場合によっては未成年であるため
- 初期症状が認知症特有のものではなく、診断しにくい、異常であることは気づくが、受診が遅れる

**「もの忘れ」と「認知症」の違い**

もの忘れ

自分が体験したことの一部を忘れる

認知症

体験した事のすべてを忘れてしまう

**認知症介護をしている人への支援**

家族だけで抱えるのではなく、周囲の人や専門家、市役所と一緒に考え、支えていく必要があります。

**認知症サポーター**

認知症サポーターは、特別なことをする人ではありません。認知症を理解し、偏見を持たず、認知症の人とその家族を温かい目で見守ることから始めてみませんか？

今日からみなさんは『認知症サポーター』です

おもて

中間市認知症サポーター

**なかまのなかま**

わたしは

認知症を**正しく理解**し  
 認知症の人や、そのご家族に  
 やさしく寄り添います

発行:中間市地域包括支援センター

出前講座のメニューに「**なかまのなかま認知症サポーター養成講座**」を加え、30分・60分・90分コースを設定。長時間の受講が困難な高齢者や民間企業の受講希望者にも対応できるよう工夫しています。そして講座の受講者には、オリジナルカードを発行し受講証明としています！





# オレンジセーフティネット



オレンジセーフティネットとは、認知症高齢者が行方不明になった場合に備え、早期発見になる事故防止や保護の迅速化を行い、住み慣れた地域で安心して、暮らし続けることができるよう支援体制を構築することを目的とした取り組みです。



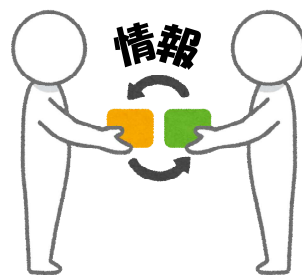
ソフトバンク株式会社

中間市

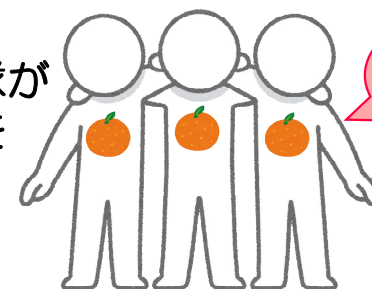
スマホを利用することでどこからでも検索依頼ができる！



リアルタイムで検索の状況を確認でき情報の共有ができる！



オレンジ協力隊が自発的に検索を実施できる！



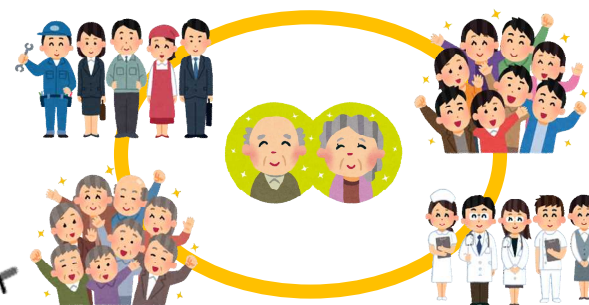
協力するよ！一緒に捜そう！



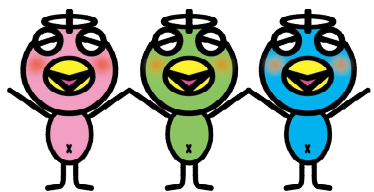
## オレンジ協力隊 協力事業者

- ・株式会社イワタダイナース
- ・エフコープ生活協同組合 八幡西支所
- ・第一生命保険株式会社 北九州総合支社
- ・株式会社セブン-イレブン・ジャパン加盟店

九州地区初の取り組みです！



地域全体での見守り体制の構築につながる！



# 動画作成

～ 認知症の人への対応方法 ～



「認知症の種類や症状を知ること大切だけど、認知症の人への接し方も理解したい…。」  
これは、地域の皆さんの思いです。“認知症”を正しく理解するために「認知症の人への対応方法」や「オレンジセーフティネット」についての説明動画を作成しました。



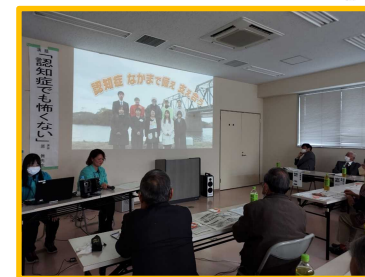
## タイトル「できることを奪わないで」

忘れてしまうことに対しての失敗体験と成功体験を比較した事例を紹介。自分が認知症になったらどのような接し方をしてほしいかを考えることが認知症への備えになります。

## オレンジセーフティネット事業について

民間企業と協働した新たな取り組み「オレンジセーフティネット」を活用した事例を紹介。アプリを使用することで認知症になっても住み慣れた場所で、自分らしく暮らすための備えになります。

作成した動画を  
認知症サポーター養成講座で上映中

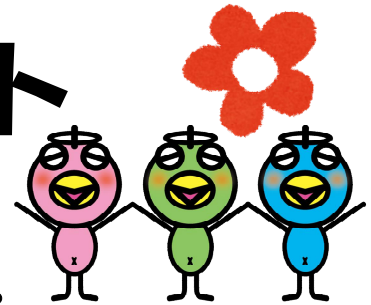






# オレンジガーデニングプロジェクト

## ～ 中間市を花いっぱいにする会 ～



知っていますか？オレンジ色の意味・・・。オレンジ色は、認知症支援のシンボルカラーです。認知症を正しく理解し、認知症であってもそうでなくても住み慣れた場所で安心して暮らしていただけるように願いを込めて、「中間市を花いっぱいにする会」のみなさんと協働し、市内各所にオレンジ色の花を植えました♥



## ★ オレンジガーデニングコンテスト ★

中間市民、市内事業所、市内活動団体を対象に募集をかけ5作品が入選しました♪



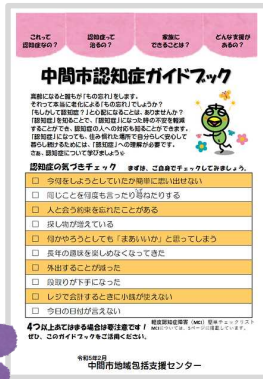
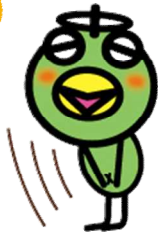




# 認知症ガイドブックを活用した啓発活動

## ～ 中間市民生委員児童委員協議会 ～

「地域の中で心配な人が増えている！」コロナ禍で深刻化する地域課題にいち早く気付いたのは民生委員さんでした。その気付きがきっかけとなり誕生したのが「認知症 なかまで備え 支え合うプロジェクト」です。令和5年度最初の活動は、民生委員さんの手で認知症ガイドブックを配布し、地域のみなさんに認知症について正しく理解してもらうための啓発活動です！



まずは委員さんが出席する協議会でガイドブックについて説明しました。

そして民生委員さんの手から直接、地域の方へガイドブックを渡しました。

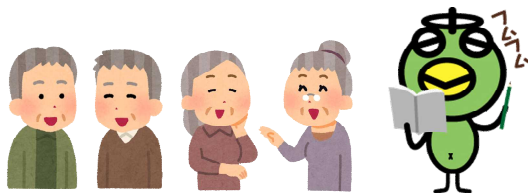
認知症について正しく理解してもらうことができ、なかまのなかま誕生です！

# 認知症ガイド - 概要版 - 全戸配布

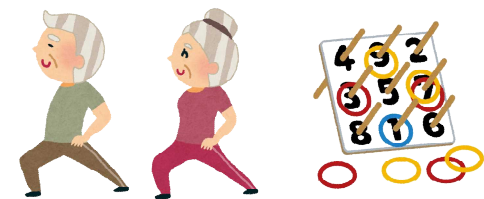
認知症になって全てを諦めていませんか？  
 認知症になってでもできることは、たくさんあります。  
 あなたは、どんなことがしたいですか？  
 認知症ガイド概要版は、認知症になっても自分らしい暮らしを諦めることなく「やりたいこと」を自由に選択できるよう、様々なサービスや取り組みを集めたものです。市内に全戸配布した他、公共施設やスーパー、ドラッグストアに設置してもらっています。



**【南校区まちづくり協議会】**  
**新おひとさまの**  
**つどい**



**【北校区まちづくり協議会】**  
**健康づくり教室**



**【東校区まちづくり協議会】**  
**認知症**  
**なかまで備え**  
**支え合う交流会**



**【中間校区まちづくり協議会】**  
**みんなで学ぼう！**  
**まち協**  
**なかまカフェ**



**(案)**  
**みんなで学ぼう！まち協なかまカフェ**

- 🌻 『認知症 なかまで備え 支え合う』講座  
 講師：中間市介護保険課 地域包括支援センター  
 生活支援コーディネーター 原 舞
- 🌻 青竹ふみ体操 🌿 オリジナル着物を  
 プレゼントするもん！
- 🌻 お楽しみ抽選会 🎁 空くしめの  
 抽選会をします！

🌿 温かい飲み物と  
 美味しいお菓子を  
 ご用意しています🍵

🎀 今回、学んでいたこと各名自治会での  
 取り組みの参考にしたいと思われたい  
 企画しました。参加は無料です。  
 みなさま、お誘い合わせの上、  
 ご参加ください。 🌻 感謝の手紙をして  
 お返しください🌻

**📅 日時：令和6年2月20日(火)**  
**13:00 ~ 15:30**

**📍 会場：中間小学校 2階視聴覚室**

各自治会5名程度の参加で、お願いいたします！  
 2月9日(金)までに事務局に、ご連絡ください。

— 主催：中間校区まちづくり協議会 —  
 ☎ 083-982-3211



# 認知症 なかまで備え 支え合う プロジェクト

～ 20のとくみ ～

- 市民図書館に認知症コーナー設置
- 「認知症でもこわくない！」動画放映
- 認知症ガイド -概要版- 全戸配布
- オレンジガーデニング
- なかまのなかま認知症サポーター養成講座
- 看護学校実習生受け入れ
- 世界アルツハイマー月間 市民ホール展示
- 小学生向け啓発授業「認知症を学ぼう！」
- 認知症フレンドリーテック  
～ 認知症の人がより良く  
生きるためのテクノロジー ～
- 新おひとりさまのつどい
- 動画作成 ～ 認知症の人への対応方法 ～
- 民生委員児童委員協議会 筑豊ブロック研修会
- オレンジガーデニングコンテスト
- 認知症 なかまで備え 支え合う交流会
- なかまのなかまカフェ
- オレンジセーフティネット事業
- 認知症 なかまで備え 支え合う講演会
- 認知症ガイドブックを活用した啓発活動
- 認知症マフ「なかマフ」製作
- 認知症とアルツハイマーリハビリテーション  
に関する国際会議で発表

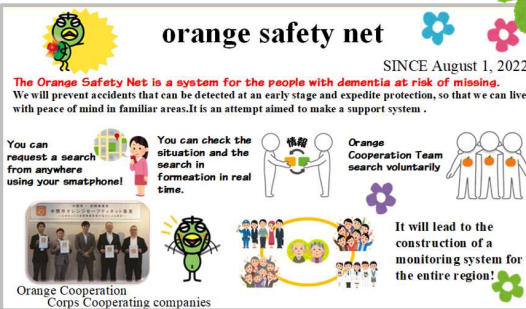
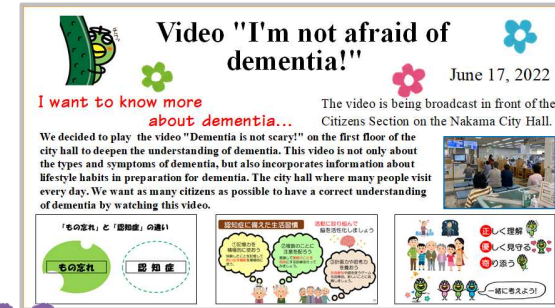
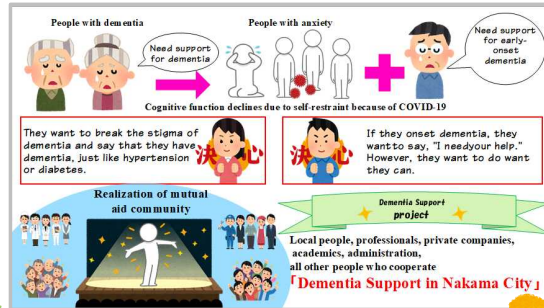






# 第4回 認知症とアルツハイマーリハビリテーションに関する国際会議

令和5年2月10日（木）イギリスで開催された「第4回 認知症とアルツハイマーリハビリテーションに関する国際会議」において“認知症 なかまで備え 支え合うプロジェクト”について発表しました。この会議は、EU、アメリカ、マレーシアなど世界各国の研究者が研究発表を行うもので、世界一の高齢社会である日本で実際に行っている住民主体の取り組みを発表する機会をいただきました！！





# なかまのなかまカフェ はじめました

「中間市の認知症支援について考えよう！」という地域課題を解決するための目標を掲げ、みんなで力を併せて取り組んだ結果、なかまのなかまは様々な繋がりを持ち、ひとつになりました。令和5年度は、更なる進化を…。地域共生社会の実現を目指した多世代交流の場を地域のみなさん、民間企業、専門職、行政の力で作り上げていく新しい取り組みの始まりです！！



1

だれでも気軽に  
立ち寄れる  
居場所です♡



2

毎月開催！  
楽しいイベントに  
参加できます♡



3

赤ちゃんから  
高齢の方まで  
参加できます♡



4

専門的な相談に  
対応できます♡



5

たくさんの人と  
出会える  
ふれあいの場です♡





認知症 **なかま**で備え 支え合う  
プロジェクト

